

十三夜を思う

美幌町図書館長 竹花 史康

先月下旬の「館長の一言」で、十六夜について触れました。昔の人々は、十五夜の次の日、ためらいながら昇る月に十六夜（いざよい）と名をつけ心寄せました。

また、十五夜の一ヶ月後の十三夜（じゅうさんや）は、「十五夜」に次いで美しい月とされ、「後の言名月（のちのめいげつ）」とも呼ばれています。この時期は晴れが多く、「十三夜に曇りなし」と言われるほどで、十五夜と同じように月見を楽しんでいたようです。

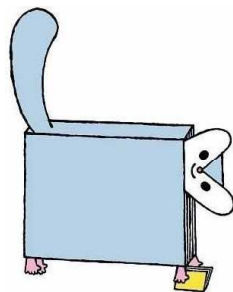
また、どちらか一方だけ月見することを「片見月（かたみつき）」といい、それは縁起が悪いと言われています。

ちなみに、今年の十三夜は10月27日（金）となっています。

「十三夜」といえば、思い起こすのはやはり樋口一葉の短編小説『十三夜』です。ストーリーは、結婚したものの、無情な夫に耐えかねた女が、ある夜、幼な子に別れを告げて無断で実家に帰る。それがおりしも十三夜であった。しかし、悲しい結末へと・・・。

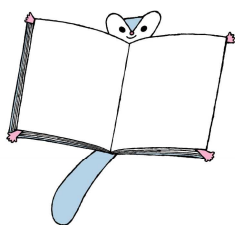
昔の人は、十五夜、十六夜、十三夜をそれぞれどんな気持ちで眺めていたのでしょうか。

私も、今年は今までも一度も眺めることなかった十三夜を、少しばかり風流な気持ちで過ごしたいと思っています。



8月の図書館利用状況

来館者	4,546 (前年比+568)
開館日数	25日
一般の貸出冊数	5,008冊
児童の貸出冊数	4,554冊
合計貸出冊数	9,562冊 (前年比-639)



8月は暑い中、たくさんの方に来ていただきました。ありがとうございます。

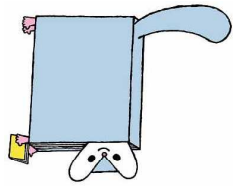
10月の主な予定

- 1日（日）図書館フェスティバル
古本市
- 3日（火）～15日（日）
本の無償譲渡
- 5日（木）
おはなしのへやブチスペシャル
- ～8日 手づくり絵本展
- 11日（水）～17日（火）
絵画サークルスペクトル作品展
- 12日、26日（木）
絵本とあそぼ
- 13日（金）
お楽しみ文学館
- 14日（土）
レコードコンサート
- 14日（土）～11月5日（日）
まち・ひと・ほんコーナー
「山口昌男著作展」
- 19日（木）
おはなしのへや
- 20日（金）
図書館ボランティアの日
- 24日（火）～29日（日）
新聞の無償譲渡
- 28日（土）～11月15日（水）
博物館移動展
- 29日（日）
大人のための朗読講習会

トモビーの一日

エピソード12

も樹手なこ
なのとの
きデい冬先
好工な。だ
大力らんま
番やなせだ
一タにまま
のイ冬りはす
私、は入ので
の液にると



ヤロシロ
タシロ
イプル
は、メ
期（雲海）
時（雲海）
のく（雲海）
こつす。グ
。らまオッ
夫。かきフ
丈液だ、出
大樹たえに
の、いま喉
のイ冬りはす
私、は入ので
の液にると



お楽しみ文学館

○日時 令和5年11月10日(金)
13:30～129分

○上映作品 『たそがれ清兵衛』

○監督：山田 洋次
○原作：藤沢 周平
○出演：真田 広之

○作品について
通称「たそがれ清兵衛」。ひょんな貧乏で日々内職にいそむる。清、幼秘着と称なは知でを兵衛こ馴めをす



レコードコンサート

○日時 令和5年10月14日(土)
15時～16時30分

○場所 美幌町図書館
視聴覚室(2F)

○秋のジャズ特集
ピノ・ザンペリ
ビル・エバンス
キース・ジャレット



ビリー・ホリディ
エラ・フィッツジェラルド
サラ・ヴォーン

<第6回> 人生を楽しむ ～ 猫を飼う～

我が家は3匹のネコがいます。そのうち2匹は兄で、1匹は妹です。超高齢で、動物病院で引き取って来ました。今は、亡くなった息子の初孫だっただけです。私動はネコもついでに呼んでお世話をしてあげたいです。ネコも人間と同じで、歳をとると足腰が弱り、耳が遠くなり、世話は少し大変です。最近、私がついてきます。ですから、最後の最後まで、いっしょに暮らしていきます。